

## 建築設備工事監理報告書

令和 年 月 日

株式会社 近確機構 様

工事の監理状況を報告します。  
この監理報告書は事実に相違ありません。

工事監理者（　）建築士（　）登録第 号  
資格氏名  
建築士事務所名（　）建築士事務所（　）登録第 号 TEL

建築設備に関し 建築設備士（　）登録第 号  
意見を聴いた者  
の氏名・勤務先名（　）登録第 号 TEL

## 概要

建築主氏名							
敷地の地名地番							
確認年月日・番号	令和 年 月 日 第	計画変更確認 年月日・番号	令和 年 月 日 第				
建築物の名称							
建築物の概要	用途				工事種別		
	階 数		建築面積	m <sup>2</sup>	延べ面積	m <sup>2</sup>	
建築設備の概要 該当するものを ○で囲む	1	機械換気設備			5	給水、排水その他の配管設備	
	2	感知器と連動して閉鎖する防火設備			6	避雷設備	
	3	排煙設備（自然・機械・押出し）			7	ガス設備（3階以上の共同住宅のみ）	
	4	非常用照明装置			8	シックハウス対策用換気設備	

注) 計画変更確認年月日・番号は最新のものを記載すること。

## 1. 機械換氣設備

1. 機械換気設備							
報告事項		状況等					
1. 火を使用する室、居室  （1）ファンの種類 ○窓用換気扇、レンジフード等の小型ファン（表1に記載すること） ○フード及びダクトに接続する中・大型ファン（表2に記載すること）  （2）ファン及びダクト取付状態、運転状況	有 無	良 否	（1）防火設備の種類 ○防火ダンパー・防火おおい（100cm <sup>2</sup> 以下） ○その他（）				
2. 直接外気に面しない便所  ○ファン及びダクトの取付状態、運転状況	有 無	良 否	（2）大臣認定等 （3）検査口及び天井点検口の設置 （4）貫通部のモルタルによる穴埋め及び取付状態 （5）防火ダンパー等の作動状況				
3. 換気無窓の居室  ○ファン及びダクトの取付状態、運転状況	有 無	良 否	8. 防火区画等に設ける防火設備等 （感知器と連動するものについては様式4に記載すること。） （1）防火設備の種類 ○防火ダンパー・その他（）				
4. 集会場、劇場等の用途に供する居室  ○ファン及びダクトの取付状態、運転状況	有 無	良 否	（2）大臣認定等 （3）検査口及び天井点検口の設置 （4）貫通部のモルタルによる穴埋め及び取付状態 （5）防火ダンパー等の作動状況				
5. 中央管理方式の空気調和設備による居室  （1）空気調和方式〔全空気方式・全水方式・空気一水方式・冷媒方式〕 （2）ダクト及び機器の取付状態 （3）中央管理システムの監視状況と制御状況	有 無	良 否	◎指示事項とその手直し経過				
表1	火気使用箇所	使用器具名と燃料消費量 (kW)	実風量 (m <sup>3</sup> /h)				
表2	火気使用箇所	係数N	理論排ガス量 K (m <sup>3</sup> /kWh)	使用器具名と燃料消費量 q (kW)	燃料消費量合計 Q = Σ q	必要換気量 V=N K Q (m <sup>3</sup> /h)	実風量 (m <sup>3</sup> /h)

樣式2

H28.4

# 機械換氣設備 空氣調和設備 風量測定記錄

測定日 令和 年 月 日

### 測定者

氏 名 \_\_\_\_\_

会社名 \_\_\_\_\_

注1：空気調和機の場合は、1基毎に別紙に記録のこと。

注2：リターン無しで、100%新鮮外気による場合は「新鮮外気量」の欄に記載しないこと。

2. 感知器と連動して閉鎖する防火設備		
報告事項	状況等	
1. 感知器と連動する防火戸等（防火設備等） (1) 防火戸等を設置する区画 面積区画・窓穴区画・異種用途区画 ・その他（ ) ) )	有 無	(2) 配線工事の種類 配管工事・ケーブル工事 ・その他（ ) ) )
(2) 防火戸等を設置した箇所数〔 箇所〕		(3) 配線方法の種別 RC埋設・天井いんぺい・露出 ・その他（ ) ) )
(3) 感知器の種類 [煙感知器・熱感知器・その他（ ) ) ]		(4) 配線の状態 ◎ 指示事項とその手直し経過
(4) 感知器の取付状態（防火設備から10m以内）及び感知状況	良 否	
(5) 防火戸等の取付状態	良 否	
(6) 防火戸等の作動状況（周囲の人の安全確保）	良 否	
2. 感知器と連動する防火ダンパー <sup>1)</sup> (1) 防火ダンパーを設置する区画 面積区画・窓穴区画・異種用途区画 ・その他（ ) ) )	有 無	
(2) 防火ダンパーを設置した箇所数〔 箇所〕		
(3) 感知器の種類 煙感知器・熱感知器 ・その他（ ) ) )		
(4) 感知器の取付状態（防火ダンパーから10m以内）及び感知状況	良 否	
(5) 防火ダンパーの取付状態及び作動状況	良 否	
3. 連動制御器 (1) 設置場所〔 ) ]	有 無	
(2) 制御回線数〔防火戸等 回線・防火ダンパー 回線〕		
(3) 制御状況	良 否	
4. 連動制御器と自動閉鎖装置間の配線 (1) 電線の種類 耐火電線・耐熱電線・耐火ケーブル・耐熱ケーブル ・その他（ ) ) )	有 無	注：煙感知器と連動する防火ダンパーにあっては、当該防火ダンパーと、ダクトの換気孔等及び感知器の取付位置を明記した平面図、さらに連動表を添付すること。

3. 排 煙 設 備 (1/2)			
報 告 事 項		状況等	
A. 自然排煙設備		有 無	
A 1. 排煙口 (手動開放装置を用いるものに限る。)			
(1) 排煙口の大きさと位置	良 否		良 否
(2) 取付状態及び手動開放装置による作動状況	良 否		良 否
A 2. 手動開放装置			
(1) 開放方式 [			
(2) 取付高さ及び使用方法の表示	良 否		良 否
(3) 取付状態	良 否		良 否
A 3. 防煙区画			
(1) 防煙垂れ壁 (固定式)	有 無		
○位置と丈及び材質	良 否		良 否
○取付状態	良 否		良 否
(2) 防煙垂れ壁 (煙感知器連動式)	有 無		
○位置と丈及び材質	良 否		
○取付状態及び作動状況	良 否		
※運動制御器については様式4に記載のこと。			
B. 建告第1436号第四号ニの各号を適用した室又は居室 〔①・②・③・④〕		有 無	
(1) 間仕切りによる他の部分との防煙区画状況	良 否		
(2) 出入り口部分の防煙区画状況	良 否		
(3) 内装制限による室内の仕上げ状況	良 否		
C. 機械排煙設備			
C 1. 排煙口			
(1) 位置	有 無		
(2) 取付状態及び手動開放装置による作動状況	良 否		良 否
(3) 排煙状況 (風量測定結果を添付すること。)	良 否		良 否
C 2. 手動開放装置			
(1) 開放方式 [			
(2) 取付高さ及び使用方法の表示			
(3) 煙感知器と連動する方式との併用			
(4) 取付状態			
C 3. 防煙区画			
(1) 防煙垂れ壁 (固定式)	有 無		
○位置と丈及び材質	良 否		
○取付状態	良 否		
(2) 防煙垂れ壁 (煙感知器連動式)	有 無		
○位置と丈及び材質	良 否		
○取付状態及び作動状況	良 否		
※運動制御器については様式4に記載のこと。			
(3) 防火防煙シャッター等による他の排煙方式との防煙区画 (様式4に記載のこと。)	良 否		
C 4. 排煙機			
(1) 仕様 (承認図面等を添付すること。)			
(2) 大臣認定等			
(3) 2以上の防煙区画部分に係る排煙機	有 無		
(4) 設置場所			
	階 室 (床置き・天吊・天井いんぺい)		
	階 室 (床置き・天吊・天井いんぺい)		
(5) 排煙口の開放に伴う自動起動状況	良 否		
C 5. 排煙ダクト			
(1) ダクトの取付及び断熱材の被覆の状態	良 否		
(2) 温度ヒューズ付防火ダンパーの設置	有 無		
○大臣認定等	良 否		
○検査口及び天井点検口の設置	良 否		
○貫通部のモルタル等による穴埋め	良 否		
○取付状態、作動状況	良 否		

3. 排 煙 設 備 (2/2)			
報 告 事 項	状況等		
D. 特殊な構造の排煙設備（押し出し排煙）	有 無		
D 1. 特殊な構造の排煙設備（押し出し排煙）			
(1) 各室における給気及び排煙する方式	良 否		
(2) 複数の室を統合した給気を行い各室で排煙する方式	良 否		
(3) 給気室の位置〔 〕	良 否		
D 2. 排煙口			
(1) 位置及び大きさ	良 否		
(2) 取付状態及び手動開放装置による作動状況	良 否		
(3) 排煙状況（風量測定結果を添付すること。）	良 否		
D 3. 手動開放装置			
(1) 開放方式〔 〕	良 否		
(2) 取付高さ及び使用方法の表示	有 無		
(3) 煙感知器と連動する方式との併用	良 否		
(4) 取付状態	良 否		
D 4. 防煙区画			
(1) 準耐火構造の壁、床による他の排煙方式の部分との区画	良 否		
(2) 給気室における防火戸等の構造及び給気時の開閉状況	良 否		
(3) 連絡経路に設ける戸の構造及び給気時の開閉状況	良 否		
(4) 圧力調整装置等の設置	良 否		
D 5. 給気口			
(1) 位置及び大きさ	良 否		
(2) 給気状況（風量測定結果を添付すること。）	良 否		
D 6. 送風機			
(1) 仕様（承認図面等を添付すること。）	有 無		
(2) 大臣認定等			
(3) 設置場所 〔 階 室（床置き・天吊・天井いんぺい） 階 室（床置き・天吊・天井いんぺい） 〕			
			(4) 排煙口の開放に伴う自動起動状況 (5) 据付状態及び運転状況
			D 7. 給気ダクト (1) ダクトの材質及び取付状態 (2) 防火防煙区画貫通部のモルタル等による穴埋め
			E. 予備電源等及び監視制御
			E 1. 予備電源等 (1) 自家発電方式 ○自主認定制度による認定 ((社)日本内燃力発電設備協会等) ○停電検出電源切替装置の作動状況 ○据付状態、運転状況 (2) エンジン直結方式 ○停電検出電源切替装置の作動状況 ○据付状態、運転状況
			E 2. 電気配線 (1) 電線の種類 耐火電線・耐熱電線・耐火ケーブル・耐熱ケーブル ・その他 ( ) (2) 配線工事の種類 配管工事・ケーブル工事 ・その他 ( ) (3) 配線方法の種別 R C 埋設・天井いんぺい・露出 ・その他 ( ) (4) 配線の状態 (5) 使用方法の表示 (6) 取付状態
			E 3. 中央管理室 中央管理室における監視と制御状況 ○ 指示事項とその手直し経過

良 否  
良 否良 否  
良 否

有 無

有 無  
有 無  
良 否  
良 否  
有 無  
良 否  
良 否良 否  
良 否  
良 否  
有 無  
良 否

## 排 煙 風 量 測 定 記 錄

※排煙機又は給気用送風機ごとに記載すること。

測定日	令和	年	月
測定者	氏名		

令和 年 月  
氏名

#### [排煙機又は送風機の仕様]

| No. 製造者名

会社名 \_

仕様 [\_\_\_\_\_m<sup>3</sup>/h × \_\_\_\_\_kW × \_\_\_\_\_Pa]

## 4. 非 常 用 の 照 明 装 置

樣式 7

H29. 8

5. 給水、排水その他の配管設備			
報告事項	状況等		
<b>1. 防火区画等を貫通する配管設備</b>			
(1) 屋内配管で防火区画等を貫通する配管の材質と最大径			
○給水管 VL P ( φ ) • GP ( φ ) • HIVP ( φ ) ・その他 ( )	有 無		
○汚水管 CIP ( φ ) • VP ( φ ) ・その他 ( )	有 無		
○雑排水、通気管 GP ( φ ) • DVLP ( φ ) • VP ( φ ) ・その他 ( )	有 無		
○配電管 CP ( φ ) • VE ( φ ) ・その他 ( )	有 無		
(2) 防火区画貫通部の施工			
○貫通部の前後 1 m を不燃材で施工	有 無		
○VP 等で建告第1422号による施工	有 無		
a. 配管の用途、貫通する床、壁の耐火時間に応じた最大外 径と内厚	良 否		
b. 贯通部前後 1 m の鉄板による被覆処理	有 無		
○貫通部のモルタル等による穴埋め	良 否		
○大臣認定等による施工方法	有 無		
○大臣認定等の認定条件による施工の確保	良 否		
<b>2. 全ての配管設備の取付状態</b>			
(1) 支持金物のさび止めの措置	良 否		
(2) 振動や衝撃に対する損傷防止措置（吊り金物及び防振ゴム等による施工）	良 否		
(3) 伸縮や変形に対する損傷防止措置（伸縮継手や可とう継手等の設置）	良 否		
<b>3. 給湯設備の転倒等防止対策の措置（満水時の質量が15kgを越えるもの）</b>			
(1) 給湯設備機器の建築物の部分等への緊結方法			
○機器の底部のみを固定したもの（底部・脚部のみ）			有 無
○機器の上部を固定し、かつ、自立する構造としたもの <sup>(*)</sup> 又は機器 の底部を固定したもの [※ 満水時の質量が60kg以下に限る]			有 無
○機器の側部を固定したもの			有 無
○上記以外（固定方法： ）			有 無
(2) アンカーボルト等の選定や配置			
○適正な径、埋込長さ若しくは打込長さ、本数又は耐力による施工			良 否
○アンカーボルト等を釣り合いよく配置			良 否
(3) アンカーボルト等の取付状態			
○建築物の部分等に堅固に取付			良 否
○アンカーボルト等の施工箇所に、ひび割れや損傷がないこと			良 否
○アンカーボルト等の取付後、機器に搖れや振動がないこと			良 否
<b>4. 給水タンク等</b>			
(1) 設置形態			
○貯水タンク（受水槽等）〔屋内型・屋外（半）地下型・屋外 地上型〕			有 無
○給水タンク（高架水槽等）〔屋内（屋外）型・独立塔型〕			有 無
(2) 最下階の床下等、浸水の恐れのある場所への設置			有 無
○浸水を検知し、警報する装置の設置			有 無
○警報装置の設置場所〔 〕			有 無
(3) 点検スペースの確保（6面点検可能のこと 上部 1 m、その他 0.6m）			良 否
(4) 水平地震力の確認			良 否
(5) 据付状態			良 否
<b>5. 排水配管設備の末端接続</b>			
○公共下水管・私設下水管・水路・（ ）			良 否
○ 指示事項とその手直し経過			

## 6. 避雷設備

## 接 地 抵 抗 測 定 記 錄 JISA4201:1992 (旧JIS)

○測定日 令和 年 月 日 ○天候 \_\_\_\_\_

○測定者 氏名 \_\_\_\_\_

会社名 \_\_\_\_\_

## ○測定値

接地極記号 (右図参照)						
単独接地抵抗値 (Ω)						
総合接地抵抗値 (Ω)						

## ◎ 指示事項とその手直し経過

## ○避雷設備概略図

(受雷部、導線、接地極及び外周長を記載すること。)

7. ガス設備			
報告事項	状況等		
1. 使用ガスの種類 <input type="checkbox"/> 都市ガス 13A・LPG <input type="checkbox"/> その他 ( )		○設置個数 <input type="checkbox"/> 品番_____ 個 <input type="checkbox"/> 品番_____ 個 <input type="checkbox"/> 品番_____ 個 (5) ガス栓の取付状態	良 否
2. ガス栓の種類と用途 (1) 屋内給湯器 (湯沸器、バランス釜等) <input type="checkbox"/> ガス栓の種類 [ヒューズコック・可とう管コック・ネジコック・ホースコック] <input type="checkbox"/> 設置方式 [ ] <input type="checkbox"/> 設置個数 品番_____ 個 品番_____ 個 品番_____ 個		3. 可とう管コック、ネジコック (1) ネジ接合用接続具 <input type="checkbox"/> 種類 [金属管(鉄管)・金属可とう管・継手付強化ガスホース] <input type="checkbox"/> 接合の状態 (2) ガス機器未設置箇所の有無 <input type="checkbox"/> プラグ止めの状態 <input type="checkbox"/> 注意書付せんの取付の確認 [ 箇所]	有 無 良 否 良 否 良 否
(2) 台所 (湯沸器、給湯器を除く) <input type="checkbox"/> ガス栓の種類 [ヒューズコック・可とう管コック・ネジコック・ホースコック] <input type="checkbox"/> 設置方式 [ ] <input type="checkbox"/> 設置個数 品番_____ 個 品番_____ 個 品番_____ 個		4. ガス栓の検定品の確認 <input type="checkbox"/> 都市ガス用—日本ガス機器検査協会 (JIA) <input type="checkbox"/> LPG用—日本LPGガス機器検査協会 (LIA)	良 否
(3) 居室 <input type="checkbox"/> ガス栓の種類 [ヒューズコック・可とう管コック・ネジコック・ホースコック] <input type="checkbox"/> 設置方式 [ ] <input type="checkbox"/> 設置個数 品番_____ 個 品番_____ 個 品番_____ 個		◎ 指示事項とその手直し経過	
(4) 屋外 (給湯器等) <input type="checkbox"/> ガス栓の種類 [ヒューズコック・可とう管コック・ネジコック・ホースコック] <input type="checkbox"/> 設置方式 [ ]		注1 : 設置方式の欄には次の記号を記入すること。 a. 壁取付方式 b. 水切取付方式 c. 壁面取付方式 (壁用ボックスコック) d. 床面取付方式 (床用ボックスコック) e. ネジ接合式 注2 : 全住戸内の合計個数を記入すること。	
		名称 _____ 所在地 _____ 階数 _____ 戸数 _____ ガス工事業者名 _____	

8. シックハウス対策用換気設備			風量測定記録			測定日 令和 年 月 日						
						測定者 氏名		会社名				
報告事項		状況等	換気エリア 番号	換気種別	室名	床面積 A (m <sup>2</sup> )	平均天井高 h (m)	気積 $V=A \times h (m^3)$	換気回数 N(回/h)	所要換気量 $Q=V \times N (m^3/h)$	実測風量(m <sup>3</sup> /h)	備考
											給気	排気
1. 換気計画		良 否										
○換気エリア、換気経路、間仕切り建具等の通気性の確認（※） ※ 換気計画を示した図を添付をすること。												
2. 換気種別		良 否										
○換気方法の種別（第1種・第2種・第3種）の確認												
3. 換気回数		良 否										
○必要換気回数（0.3・0.5・0.7回/h）の確認												
4. 換気設備スイッチの措置		良 否										
○常時運転を指示する注意書き等、シックハウス対策用としての配慮ができているかの確認												
5. 換気装置の取付状態、運転状況		良 否										
6. 給排気口の状態		良 否										
○給排気口の有無、位置、大きさの確認 ○雨除け・虫除け対策の確認												
7. 換気ダクトの施工状況		良 否										
○防火区画貫通措置等の確認 ○ダクト材質の確認												
8. 換気装置の能力（風量測定記録）		良 否										
○次のイ～ハのいずれかの方法により風量を確認し、右風量測定記録の実測風量欄に記入する。 イ. 実測風量測定 ロ. 換気装置ダクト等の圧力損失計算（計算書、資料の添付） ハ. 定格風量（カタログ等資料の添付） ※上記ハ.は壁付け換気扇等の場合のみ適用可		イ・ロ・ハ										
◎指示事項とその手直し経過												